



「人にやさしい空間づくり」も進めた  
がん診療センター

## 製鉄記念室蘭

# リニアック、PET-CT設置

## がん診療センター30日オープン

室蘭市の製鉄記念室蘭病院（足永武理事長、松木高雪病院長・三百四十七床）が、昨年六月から整備を進めてきた「がん診療センター」が三十日オープンする。PET-CTは十一月、リニアックは来年三月から稼働。道がん診療連携指定病院に指定されており、西胆振や近隣医療圏のがん患

者への総合的な診療、診断体制がさらに充実、強化される。同センターは中央診療棟南側に建設。建物はRC造四階建て延べ約二千五百三十平方メートル。放射線治療装置、PET-CT検査室、RI検査室を備え、外来化学療法センターはスペースを大幅に拡張し、ベッドを十床か

ら二十五床に増床する。緩和ケア外来（隔週火曜日午後）も移設してスタート。がん患者サロン、がん相談支援センターを併設し、幅広く対応する。患者図書室「はあーと」には医療や介護、健康関連の書籍、DVDを各種そろえ、情報検索できるようパソコンを設置。患者、家族だけでなく、一

般市民へも貸し出す。市民講座などを行えるよう大型スクリーン、音響設備のある大講堂、コーヒー専門店の喫茶コーナーも設ける。また震災や自然災害などに備えて、施設内には災害用コンセント、水や食料などを確保した防災備蓄品倉庫を設置し、地域住民の避難所として使

用できるようにする。

安心して治療等が受けられるよう、室蘭工大と「人にやさしい空間づくり」をテーマに、内装やデザインをコラボレーション。中央診療棟とつながる渡り廊下にはギャラリーを新設、道内若手アーティストの作品を展示するなど、ホスピタルアートの癒しの空間とする。同病院ではチーム医療で治療からサポートまでトータルケアを提供、「がん患者、家族、地域住民を幅広く支えていきたい」としている。